

# いしづち

愛媛労災病院広報誌第25巻第1号

(通巻第111号)

2025年1月5日発行

発行人：院長 木戸健司

## 理念

当院は働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指します

## 基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のよう宣言します。

### 【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質な医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

### 【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務

## あけましておめでとうございます

愛媛労災病院 院長 木戸 健 司



皆様新年あけましておめでとうございます。昨年は元日の能登半島地震や翌日に起こったその救援に向かう海上保安庁機とJAL機の羽田空港での衝突事故等年始早々から大きな災害に見舞われました。この原稿は年末に書いておりますが2025年が穏やかなスタートをされていることを願っております。

さて愛媛労災病院では2024年4月から常勤医として神田正敏医師を迎え、消化器センターをリニューアル・スタートすることができました。これもひとえに新居浜市をはじめとする関係各位の御協力のおかげと心より感謝致します。愛媛大学先端内視鏡開発講座教授の森宏仁先生の指導のもと内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) や内視鏡的粘膜切除術 (EMR) 等消化管内視鏡治療に積極的に取り組んでくれています。ただ何分常勤医1名の体制ですので、夜間の急患対応などは制限を継続しておりますが温かく見守って頂ければ幸いです。

一方病院を取り巻く状況は厳しさを増すばかりですが新居浜市、特に川東地区の皆さんに対して貢献できることは多く残っていると思います。これからますます高齢化が進む地域のなかでは高齢者特有の疾患、心不全や誤嚥性肺炎、脳梗塞や大腿骨近位部骨折が増加していくことが予想され、これら高齢者特有の疾患への対応がより求められると思います。これは若年、壮年者の治療より手間も時間もかかるものですが、地域の開業医の先生、介護施設、ケア・マネージャーさんと協力しながら高齢者の方が少しでも安らかな生活を送れるように努めて参りたいと思います。

2025年が皆様にとって良い年となるよう祈っております。本年も宜しくお願いします。

新年のご挨拶	1	●	手術を安心して受けていただくために	3
超音波ガイド下注射	2	●	年末年始後の食生活のポイントについて	4
新しい酸素療法デバイスのご紹介	3	●	第11回 市民公開講座開催のお知らせ	4

## 超音波ガイド下注射

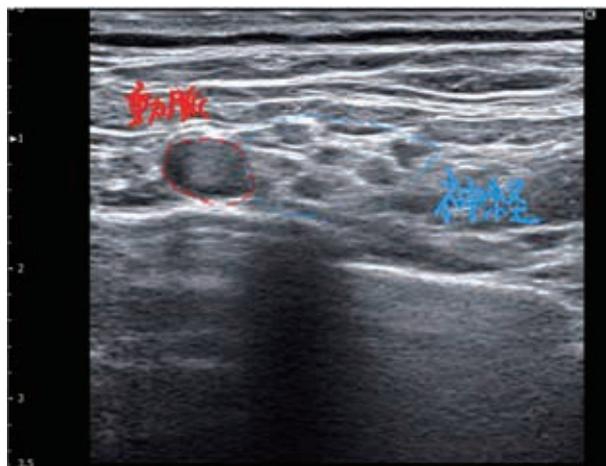
整形外科 寺崎隼人

近年、超音波ガイド下の注射が普及してきています。超音波を見ながら行う最大のメリットは病巣の部位や針先の深さの確認、薬剤等の液体の拡散状況をリアルタイムに確認できます。当院では主に骨折した際の整復時、手術時に超音波ガイド下神経ブロックとして用いることが多いです。また、超音波ガイド下ハイドロリリースや関節腔内注射を行うこともあります。

上肢や下肢の手術の際に用いる腕神経叢ブロックや坐骨神経ブロックがあります。腕神経叢ブロックの際は鎖骨下動脈や肺がありますので、誤穿刺により血腫や血気胸になります。超音波を使用することでその確率を格段に下げることができます。右写真のように神経や穿刺針をはっきりと描出し行います。

また、怪我や手術の影響で神経の癒着が起こり滑走が悪くなり、痛み（灼熱感）やしびれが出る方がいらっしゃいます。そのような方にはどの神経が原因かを特定し周囲の組織との液性剥離を行うことも可能です。リハビリテーションでも神経滑走リハビリがありますが、直接剥離を行うため効果は大きいものとなります。

なにかご不明な点がございましたら受診いただけますと幸いです。



## 新しい酸素療法デバイスのご紹介

臨床工学技士 青木 究

皆さんは自分の呼吸を意識したことはありますか？呼吸することによって私たちは空気中から酸素を体内に取り入れ、逆に体内で不要になった二酸化炭素を吐き出しています。しかし、様々な要因でうまく酸素が体内に取り込めない場合があります。その際は通常より多く酸素を吸えるようにチューブやマスクを鼻や口元につけてもらいます。ただ、その方法では濃い酸素を吸うことができないので、それでも酸素が不足する場合は人工呼吸器をつける必要がありました。最近になって人工呼吸器をつけなくても100%の濃い酸素を無理なく吸うことができる方法としてハイフローセラピー（HFNC）という治療法が新しくできました。これは鼻につけたチューブから呼吸を上回る酸素を流すことで安定した濃度の酸素を吸うことができる治療法で

す。従来の人工呼吸器をつけるよりも侵襲が少なく楽に呼吸ができるようになりました。

私たち臨床工学部は、このような医療機器の専門家として安全かつ快適に患者さんにご使用いただけるよう、院内で研修会などを行っております。



## 手術を安心して受けていただくために

手術室師長 原田 敦子

急性期医療を担う当院では手術の実施は必要不可欠です。当院の年間の手術件数は約1000件です。科別の手術割合は、整形外科が60%を占め、続いて口腔外科、産婦人科、外科となっています。麻酔別では、全身麻酔の手術を65%以上の割合で実施しています。

手術室には師長を含む9名の看護師が配属されています。患者さんにとって安心安全な手術を実施するために、周術期における専門的な知識と技術の向上に努めつつ、やさしく思いやりのある看護を実践できるように皆で協力して頑張っています。手術を受ける患者さんに少しでも安心していただけるように、外来で手術が決定した時には「術前看護外来」を実施し、気持ちや必要物品などがきちんと準備できるようにしています。入院後は前日または当日に病室へ訪問して、直前の質問に答え追加説明を行って

ます。手術を受ける時には誰でも緊張や不安がともないます。そんな患者さんに寄り添い、出来る限りのサポートをしていきますので、私たちに何でも聞いてください。狭いながらも楽しい我が家、スタッフは9名ですが、チームワークをいかして頑張ります。



## 年末年始後の食生活のポイントについて

栄養管理部 主任管理栄養士 大西 邦枝

楽しい年末年始はどうしても食生活が乱れがちになってしまい、血糖、血圧、脂質代謝などがコントロール不良となる患者さんが増加してしまう時期です。そのため、今回は年末年始後の食生活のポイントについて、何点か紹介させていただきます。

- 1) まずはメリハリのある食生活へ戻しましょう。そのためには規則正しい生活を心掛けることからです。
- 2) 間食は時間と分量を決めて食べましょう。間食などの食べ過ぎの原因は、自宅に食べるものがたくさんありすぎることです。必要以上の買い置きを控えることがポイントです。
- 3) 食べてすぐ寝ることは控えましょう。反対に食後（30分後くらいから）体を動かすことは、血糖値の上昇を抑えることができ、また血糖値が下がりやすくなります。
- 4) 塩分を控えることを意識しましょう。白菜漬けなどがおいしい時期ですが、浅漬けの漬物なども野菜だと思わずに一口程度にしましょう。また、野菜がたっぷりとれる鍋物もスープをたくさん飲んでしまうと塩分過多になりやすいので注意が必要です。

- 5) 気温が低下し水分摂取が少なくなる時期です。果物などですまさずに、こまめにお茶や水をとるように意識しましょう。
- 6) 健康な成人の果物1日適量は【80キロカロリー程度】です。おいしい柑橘類が続々と登場する時期になりました。下記目安量を参考にし、食べ過ぎには注意しましょう。
- 7) アルコールの飲みすぎに注意し、栄養代謝の中心的臓器である肝臓をしっかりと休めて整えてあげてください。

当院では、外来・入院の患者さんへ医師の指示のもと、個人の状態や生活状況に応じた栄養食事指導を実施しています。自身の病状に対する食事関係について、何か気になることがございましたら是非主治医へご相談下さい。



### ■ 果物80kcalの目安量 ■

温州みかん	中2個（約80kcal）
※柑橘類	可食部200g（約80kcal）
柿	中1個（約80kcal）
りんご	中1／2個（約80kcal）
バナナ	中1本（約80kcal）

第11回 市民公開講座を1月25日(土)に開催!!

## 健康寿命をのばそう！今日から始める健康生活

～いつまでも楽しくいたいけん～

高齢化が進行している新居浜市において、日常生活と密接に関係する生活習慣病の予防、改善をすることが課題となっています。今回の講座では、医師、看護師による講演をはじめ、食事や運動といった身近な視点から栄養士やリハビリテーション技師による講演を行い、生活習慣病の理解を深め、市民のみなさんと一緒になって生活習慣病を考える場としたいと思っております。

皆さまのご来場お待ちしております。



広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：篠原放射線科部長、若林看護副部長、長野看護師長、高橋看護師長補佐、大成主任薬剤師、成田理学療法士、青野管理栄養士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、丸山総務課員、藤岡総務課員、池上総務課員、河西医事課員